

第1回 棟方志功記念館建物利活用意見聴取会議について

1 会議概要

- 日 時 令和7年11月12日（水）10時00分～11時45分
- 場 所 リンクステーションホール青森 3F 小会議室（4）
- 案 件 棟方志功記念館の利活用について
- 出席委員等 7名（委員6名及びオブザーバー1名）
- ・出席委員 池田 亨（一般財団法人棟方志功記念館 頭彰推進アドバイザー）
石田 完（松原町会 会長）
佐々木 淳一（学校法人青森山田学園 青森大学副学長）
杉本 康雄（一般財団法人棟方志功記念館 理事長）
成田 幾末（社会福祉法人青森市社会福祉協議会 会長）
三橋 信子（東青地区中学校教育研究会美術部会 会長、
青森市立造道中学校 校長）
 - ・欠席委員 成田 耕造（青森商工会議所 常議員、
情報・教育文化部会ワーキンググループ 座長）

2 委員からの御意見概要

- ・棟方志功を中心とした展示としつつ、市が所蔵する美術作品や文化財を紹介するなど、市の文化全体を見直すような展示ができればよいのではないか。
- ・松原地区内には幼稚園から高校まで教育施設がそろっている。子どもたちに世界的な版画家である棟方志功のことを伝えていけるような施設にしてほしい。
- ・棟方志功のファンはシニアが多く、若い人たちにどういう風に志功を理解してもらえるかを考えなければならない。デジタルを活用し動いたり触れたりするものは面白いと思う。
- ・建物のバリアフリーもしっかりと行うべきである。
- ・子どもに关心を持ってもらうために、子どもたちが各展覧会で入賞した作品を展示したり、遊びの要素を含んだゲーム感覚のワークショップといった仕組みも考えられる。
- ・庭園は棟方志功自身の希望によるものが多く入っていると思うので、それを活かしていけばよいと思う。
- ・展示については、以前のものと同じ展示ケースに入るとなると、本物を近い距離で見ることができ、画伯の迫力を体感できる展示になると思う。本物に勝るものはないと考える。
- ・松原地区は交通の便がよいので、中学生に放課後や休みの時間帯にワークショップのお手伝いをしてもらうこともできるのではないか。
- ・記念館が再開館する際は、館の名称に棟方志功の名前を残してほしい。

3 今後の予定

12月下旬 第2回会議開催